

2019年1月吉日

武蔵野市内在住・在学の小中学生向けワークショップ「雪の結晶を作って撮影してみよう」開催【取材のご案内】日時：2019年2月2日（土）14：00～ 場所：武蔵野ふるさと歴史館

成蹊学園サステナビリティ教育研究センター（ESDセンター）と武蔵野市教育委員会は、2019年2月2日（金）に、武蔵野市内在住・在学の小中学生を対象として、ワークショップ「雪の結晶を作って撮影してみよう」を開催します。武蔵野ふるさと歴史館で開催中の特集展示「寒さと雪と武蔵野の人々」の関連企画として、成蹊学園サステナビリティ教育研究センター所員の宮下敦教授が講師となり、武蔵野の気象情報を100年近く記録してきた「成蹊気象観測所」の紹介と、雪の結晶の作成実験、自分や家族のスマートフォン・タブレットを使用した撮影方法のレクチャーを行います。

— 記 —

ワークショップ「雪の結晶を作って撮影してみよう」

日 時：2019年2月2日（土）14：00～15：30

場 所：武蔵野ふるさと歴史館（東京都武蔵野市境5-15-5）

講 師：宮下 敦（成蹊大学 理工学部教授）

対 象：武蔵野市内在住・在学の小学4年生～中学2年生（保護者見学可）

主 催：成蹊学園サステナビリティ教育研究センター、武蔵野市教育委員会

プログラム：成蹊気象観測所の紹介、雪の結晶の作成実験、雪の結晶の撮影レクチャー

## ●講師プロフィール

宮下 敦

1960年生まれ。成蹊大学理工学部教授、成蹊気象観測所所員、成蹊学園サステナビリティ教育研究センター所員。専門は理科教育学で、地質学、岩石学、鉱床学、およびそれらの科学史の研究も行っています。

## ●成蹊気象観測所について

成蹊気象観測所は、昭和元年（1926）年から、現在に至るまでの武蔵野の気象を観測し、その結果を記録し続けている研究機関です。気象観測以外にも、富士山や東京タワーの視程観測を行うなど、様々な取組みを行っています。成蹊気象観測所 Web サイト (<https://www.seikei.ac.jp/obs/index-j.htm>) や Twitter (@obsseikei) などで日々の観測結果を広く公開しています。

## 【ご取材に関するお願い・ご注意事項】

申込方法：1月31日（木）までに、成蹊学園 広報グループ（0422-37-3517）にお申込みください。

※当日の取材受付等につきましては、お申込み時にご案内致します。

本件に関する報道機関からのお問い合わせ

成蹊学園 広報グループ 担当：栗林 TEL: 0422-37-3517 Email: [koho@jim.seikei.ac.jp](mailto:koho@jim.seikei.ac.jp)